

令和 8 年度 64 回生 授業概要（シラバス）

科目名	日常生活援助技術Ⅲ (排泄)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年後期	単位数/時間	1 単位/30 時間 ① 食生活・栄養：14 時間 ② <u>排泄</u> ：16 時間
担当講師名	加美 恵里佳	所属・役職	宮古高等看護学院 専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	排泄の意義、排泄が生体や精神に及ぼす影響を理解し、排泄に援助が必要な対象への援助方法を習得する		
到達目標	1. 排泄の意義を理解できる 2. 排泄が生体や精神に及ぼす影響と排泄に関するアセスメントを理解できる 3. 排泄援助の目的や留意点を理解し、援助方法を習得できる 4. 排泄障害のある対象への援助方法を習得できる		
事前学習内容	腎泌尿器系・消化器系の構造と機能、排泄について既習事項を確認すること		
成績評価の方法	・終講試験（「食生活・栄養」と合わせて 100 点） ・受講態度不良の場合や課題の提出期限の遅れがあった場合は終講試験の結果から減点		
使用テキスト	①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第 19 版【電子版】 2026 年 version2 医学書院 ②看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第 2 版第 1 刷 メディックメディア ③看護がみえる vol.2 基礎看護技術 第 2 版第 1 刷 メディックメディア		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	排泄の意義としくみ、排泄のアセスメント		講義
第 2 回	自然排尿および自然排便の援助方法		講義
第 3 回	ポータブルトイレでの排泄援助		演習
第 4 回	尿器・便器を使用したベッド上排泄援助		演習
第 5 回	自然排尿および自然排便が困難な人への援助方法、ストーマケア		講義
第 6・7 回	一時的導尿・持続的導尿		演習
第 8 回	浣腸・摘便		演習
履修上の留意点	・分からないことをそのままにせず、疑問を解決するための行動を積極的にとること ・演習には真摯な態度で臨み、技術習得に精進すること ・看護技術を習得できるように、授業以外でも積極的に自主練習に取り組むこと		